

2022 年度事業報告書

2022 年 8 月 1 日から 2023 年 7 月 31 日まで

■ 第 17 期(2022 年度)のポイント

スタッフを雇用してボランティアの参画を促しながらプロジェクトに取り組む組織体制に前年度より変わったことで、コーディネーターとなる中心スタッフを中心とした事業チーム制で事業を行う 1 年となった。外国人支援チーム(国際事業部)と、子ども・若者支援チームの中から親支援・女性支援を中心としたプロジェクトチームとがそれぞれ事業を新しく立案・提案し、応援して下さる行政や財団からの支援をいただくことができた。

外国人支援チーム(国際事業部)は、北神地域を中心に、在住外国人が散在する地域におけるアウトリーチ型相談支援の体制づくりに取り組んだ。また、子ども若者支援チームも、一人暮らし学生への食料配布会企画などでの実績を重ねることで、新たな事業の依頼を受けて取り組むことにつながった。いずれの事業でも、現場で出会った人の声を丁寧に聴かせていただくことで、声を出せずに苦しんでいる当事者が安心して関わるができる「まちのセーフティーネット」を市民目線で作っていくことが求められることを実感している。また、当日ボランティアに対しても事前研修を行うなど人材育成にも力を入れ、参加者が安心して話することができるような環境をともに作り上げていく雰囲気作りに取り組むことができた。

一方で、助成金事業が増えることで管理部門や共通経費の按分などが十分にできず、持ち出しとなった費用が多くあった。そのため、寄付など多くの支援をいただきながらも、次へのプロジェクトへ投資できるほどの余裕がない決算となってしまった。事務分掌など事務局運営の方法の見直しが、次期の課題である。

私たちの取り組みに共感して下さる方や、各種プロジェクトに関わって下さるボランティアさん、ご寄付いただく方々も増えている。「NPO は社会参加の器である」という視点のもと、参加者一人ひとりを大切に、多様な参加と役割のある出会いの場づくりを進め、縁あってこの地にたどりついた人たちが、助けてコミュニケーション力を高め、資源を分かち合って相互に助け合える関係をつくることで、「困った時に、誰かに安心して助けを求めることができる支え合いの社会」を目指して取り組みを進めていきたい。

■ 特定非営利活動に係る事業の実施について

1. 市民活動や運営に関する相談事業（収益 '21 : 2,288 千円、'22 : 2,144 千円）

市民活動に関する幅広い相談支援を実施。相談料は 1 回 1,000 円(初回無料)としている。

【ひょうごボランティア基金中間支援助成事業】

1.1. 市民活動団体・法人設立および解散支援

市民活動団体や NPO 法人設立を希望する団体を支援。申請書類作成や運営組織体制づくり、事業報告書作成、労務・登記等に関するアドバイスをした。また、解散に関する相談にも対応した。

(主な実績)

- さんだアートガーデン(三田):「ゴッホの丘」を中心としたアートのまちづくり NPO

1.2. 団体運営・マネジメント支援・組織基盤整備・認定 NPO 取得支援

事業企画の立案や継続、運営体制のあり方についてのアドバイス、NPO 関連の制度や事例、助成金等の情報提供、広報の相談支援、人材のコーディネートを実施した。

(主な実績)

- 認定 NPO 法人まなびと(神戸市中央区):マネジメント支援、放課後児童クラブの運営支援
- NPO 法人地域社会の健康を支援する会(神戸市北区) 子ども食堂運営への支援
- 長尾児童館(神戸市北区: 神戸市社会福祉協議会運営) 運営相談
- 神戸市認定 NPO 取得支援事業(受託・ひょうごコミュニティ財団)へのアドバイザー派遣
- 公益財団法人非営利組織評価センター グッドガバナンス評価への評価委員派遣
- (株)Packs デイサービスの事業継続計画(BCP)策定 ファシリテーター

1.3. 団体のバックヤード(事務機能)支援

NPO の事務作業を一部または全部代行(業務受託)して実施している。

(主な実績)

- NPO 法人三田市手をつなぐ育成会: 会計事務および請求事務全般
- NPO 法人歴史文化財ネットワークさんだ: 会計および事務全般
- さんだ楽語協会: 事務全般の支援

2. 市民活動に資するネットワーク形成事業（収益 '21 : 2,022 千円、'22 : 2,629 円）

2.1. まちなか交流企画 ～まちの読書カフェ

奇数月 1 回、全 6 回開催。書籍に関連するテーマにおいて、自身の身の回りで起きていることとリンクさせながら、まちのこれからについて考えた。事務局だけでなく参加者から書籍・著者の提案をいただくことが定例化し、より多様なジャンルが実施できている。

（実施状況）

回	実施日	書籍名(出版年)	著者	参加者数
58	2022 年 10 月 1 日	陰謀論と二セ科学 ～あなたもだまされている(2022)	左巻 健男	6 人
59	2022 年 11 月 19 日	応援消費 ～社会を動かす力(2022)	水越 康介	6 人
60	2023 年 1 月 21 日	民主化する中国(2022)	丹羽宇一郎	7 人
61	2023 年 3 月 18 日	一汁一菜で良いという提案(2021)	土井 善晴	6 人
62	2023 年 5 月 20 日	世界で最初に飢えるのは日本 ～食の安全保障をどう守るか(2022)	鈴木 宣弘	6 人
63	2023 年 7 月 22 日	街道を行く～十津川編(2008)	司馬遼太郎	6 人

2.2. 子ども支援者連絡会

さまざまなテーマで子ども支援に携わる支援者同士がゆるやかにつながり、情報交換や課題解決に向けた話をするネットワーク会議を定期的に運営している。今期は、「裏六甲子ども・若者支援者ネット」としてより広域的なネットワークづくりに取り組むとともに、「一人暮らし学生食料配布企画メンバー会議」のような具体的なプロジェクトとしても活動した（詳細は P.22 参照）。

2.3. シェアオフィス / 2.4. 三田 NPO 連絡協議会 / 2.5. 遺贈資源仲介

今期の実施はなかった。

2.6. 裏六甲子どもの居場所支援者ネットワークづくり【NPO 法人子ども食堂支援センターむすびえ助成事業】

裏六甲エリア（三田市、神戸市北区北神地域、西宮市北部など）の子ども・若者の居場所がつながる圏域ネットワークを 2021 年に立ち上げた。地域課題を共有し検討するとともに、食糧集積や広報、ボランティア人材の“発掘”や専門家資源の共通利用、研修などを相互に取り組み、助け合える仲間づくりを目的として取り組んでいる。

(1) ネットワーク会議の開催

裏六甲圏域、また、各市域を単位とし、それぞれの地域で活動する子ども・若者支援団体がゆるやかにつながり情報交換できる場を作った。

①圏域ネットワークづくり

講座「子ども・若者の居場所支援者交流会」(p.5 参照)の後半を参加者同士の交流・研修時間にあて、ネットワークづくりの要素も加えて実施した。

②市域ネットワークづくり

◎三田子ども支援者連絡会議

	第 3 回	第 4 回
日時	2022 年 10 月 1 日(土) 13:30-16:00	2022 年 11 月 18 日(金) 10:00-12:00
場所	三田ほんまち交流館「縁」	三田ほんまち交流館「縁」
参加者数	14 名	11 名

◎西宮北部ネットワーク会議 / 今期末開催

◎神戸市北神地域ネットワーク会議

神戸市北区社会福祉協議会が主催する「子どもの居場所運営団体交流会」へ、研修講師として参加(p.6 参照)。その他、担当職員と情報共有・連携をはかっている。

(2) 公式 LINE アカウント「裏六甲子ども支援ネット」による情報発信

企業等から提供いただいた食材や物資の提供情報や、フードバンク関西等からの提供情報、助成金情報、講座・イベント情報(主催・他団体主催含む)等を発信。年度末時点で 48 人が登録。

(3) 食材の共同調達・共同利用の取り組み

詳細は、「7.5. フードシェアリング事業(1)さんだコミュニティパントリー(仮称)創設・運営事業」(p.21)を参照

3. 市民活動に資する人材育成事業（収益 '21 : 854 千円、'22 : 198 千円）

3.1. 自主セミナー開催

(1) NPO スキルアップセミナー

NPO 法人を対象に、組織運営に必要な情報やスキルを提供することを目的に開催した。

①子ども・若者の居場所支援者交流会【NPO 法人子ども食堂支援センターむすびえ助成事業】

テーマ	あなたの団体の上手な魅せ方のコツ	人とお金のやりくり
実施日	2022 年 9 月 13 日(火)10:30-12:30	2022 年 12 月 6 日(火)10:30-12:30
会場	三田市まちづくり協働センター 多目的ホール	三田市まちづくり協働センター 多目的ホール
内容	広報の考え方 多様な SNS の活用方法について	リスクマネジメントの考え方 資金調達の方法、人の集め方など
講師	千馬 雅史さん (株)A-dos シニアコンサルタント	田村 太郎 さん (一財)ダイバーシティ研究所 代表理事
参加数	25 人・団体	22 人・団体
当日の様子		

②広報ツールセミナー【ひょうごボランティア基金助成事業】

テーマ	無料デザインツール CANVA ではじめる ワンランク上のチラシ作り講座
実施日	2023 年 7 月 17 日(月祝)14:00-16:00
会場	三田市まちづくり協働センター 講座室
内容	チラシづくりや SNS 用の画像編集ができる 無料ツール「CANVA」の操作体験会
講師	足達 龍彦さん 場づくりカレッジエスケープ代表
参加数	11 人・団体



3.2. 講師派遣

実施日	内容	主催者	派遣者
2022年8月23日(火) 13:00-16:00	ひきこもり支援阪神北ネットワーク会議 ファシリテーター	(一社) いきがいさがし	大島
2022年10月8日(土) 14:00-16:00	三田地区こども食堂スタートアップ講座② 「子どもの居場所の作り方」	(社福)三田市社会 福祉協議会	大島
2022年10月27日 (金) 14:50-16:30	「NPO・NGO 論」ゲストスピーカー 出会い、つながり、事(コ)が動き出す「場」をつくる ～ゆるやかなネットワークによるまちづくり支援活動の事例を通して	甲南大学文学部 帯谷博明研究室	大島
2022年12月11日(日) 13:00-14:30	ボランティアサークル「SSV 関西学院」 サークル研修交流会 講師	SSV 関西学院	大島
2022年12月13日(火) 13:00-14:30	神戸市北区こどもの居場所活動団体交流会 ゲスト講演	(社福)神戸市北区 社会福祉協議会	大島
2023年2月15日(水) 14:00-17:30	公開シンポジウム「あなたの知らない、日本に暮らす外国人 ―何を知ってもらい、何を一緒に考えてもらいたい―」 事例発表	(公財)日本国際 交流センター	本田 エン
2023年2月17日(金) 10:30-12:00	NPO 法人のための実務セミナー 「事業年度終了後の手続き」	(N 法)北播磨市民 活動センター	大島
2023年2月22日(水) 10:30-12:00	NPO 法人のための実務セミナー 「定款変更・役員変更の手続き」	(N 法)北播磨市民 活動センター	大島
2023年5月20日(土) 18:00-19:30	ボランティアサークル「SSV 関西学院」 アイスブレイク研修講師	SSV 関西学院	大島
2023年6月20日(火) 8:40-10:20	「NPO 論」ゲストスピーカー 出会い、つながり、事(コ)が動き出す「場」をつくる ～ゆるやかなネットワークによるまちづくり支援活動の事例を通して	関西学院大学 人間福祉学部 石田 祐 研究室	大島

3.3. 委託セミナー開催

今期の実施はなし。

3.4. 市民の「やりたい！」を支援する

人材インキュベーション事業

子ども食堂や学習支援など「子どもの居場所」の立ち上げを考える人・団体を中心に、6 団体の伴走支援(相談支援、人材マッチング、資金提供、広報支援)を実施した。
その結果、3 団体が子ども食堂や居場所の具体的な開設につながった。

子どもの支援をするなかで、お困りごとはありませんか？

子どもの居場所づくりを お手伝いします

「活動を始めたい方・広げたい方を応援します！」
(少子化対策推進事業)で活動する8団体協賛(2022年12月まで)

サポートスタッフ紹介
地域住民や学生と協働で、子どもの居場所(三田市の子ども食堂「まなびのこ」子ども食堂)を運営しています。地域の課題やニーズに応じて、様々な支援を行います。経験豊富なスタッフが、活動のサポートを行います。

子ども食堂 **フードパントリー**
学習支援 **不登校・ひきこもり**

●子どもを支援する活動をやってみよう！
●いまやっているけど悩みがある...

まずはご連絡ください！
無料相談

LINE 公式アカウント 橋とつながりの研究センター
LINE 公式アカウント 橋とつながりの研究センター
LINE 公式アカウント 橋とつながりの研究センター

NPO法人 橋とつながりの研究センター 〒658-1511 三田市中区南2-14-1 (三田駅前)
☎079-553-2521 ☎079-553-2522 ✉ibasho@batotsunagari.net
※活動時間: 月曜～土曜 10:00～17:00 (日・祝祭日)

4. 市民活動に関する情報発信事業（収益 '21 : 0 千円、'22 : 0 千円）

4.1. メールニュース、SNS の活用

メールニュースでは、主催事業の案内に加え、助成金情報、地域イベント情報を不定期で配信している。ホームページは、井上義則さんが情報更新や構築の支援に携わってくださっている。また、公式 LINE アカウント「裏六甲子ども支援ネット」を作成し、子ども・若者支援者向けの情報発信を行っている。その他、当団体の活動の情報発信は、以下のツール活用して行っている。

メインホームページ

<https://batotsunagari.net/>



多言語サイト「つながり」

<https://tsunagari-fr.net/>



NEW

Facebook

<https://www.facebook.com/batotsunagari/>



三田まちの寺子屋「まなびあ」

Facebook

<https://www.facebook.com/sanda.manavia/>



北神日本語教室

Facebook

<https://www.facebook.com/hokushinnihongokyoushitsu/>



ベトナム語での情報発信

Facebook

<https://www.facebook.com/profile.php?id=100081397306085>



裏六甲子ども支援ネット

公式 LINE アカウント

LINE ID:@591ufrmv



いけるで! かーちゃん北神戸PJ

公式 LINE アカウント

LINE ID:@426hwkry



NEW

青少年なんでもサポート「きつとチャット KOBE」

<https://sites.google.com/batotsunagari.net/kobekitchat/>



NEW

Instagram

<https://www.instagram.com/batunagari/>



ほっこり縁側ひろば

<https://sites.google.com/batotsunagari.net/engawa-hiroba/>



Twitter

<https://twitter.com/batotsunagari>



5. まちづくりに資する地域情報化事業（収益 '21 : 0 千円、'22 : 0 千円）

5.1. オンライン会議の支援

zoom を中心としたオンライン会議支援のニーズがあったため、相談支援や講師派遣を行った。

6. まちづくりに資するコーディネーション事業（収益 '21：15,442 千円、'22:13,328 千円）

6.1. 在住外国人支援を通したまちづくり支援事業

①地域日本語教室「北神日本語教室」運営（コーディネーター： 本田文代）

【ひょうごボランティア基金助成／神戸市国際コミュニティセンター助成】

在住外国人区民が生活や働くうえで必要な日本語を習得できるよう、養成講座を受講した日本語ボランティアが 1 対 1 で教える地域日本語教室を、2019 年 12 月に開設。日本語のみならず、暮らしにまつわる生活相談や文化、社会ルールなども一緒に学びあっている。活動の様子は、コーディネーターが Facebook ページにて報告・発信している。



北神日本語教室
Facebook

日 時 毎週水曜日 18:30～20:00

場 所 北神区文化センター会議室(神戸電鉄岡場駅徒歩 5 分)

参加者

- ・ 外国人登録者： 17 名
- ・ 参加者出身国： 中国、ベトナム、ネパール、ジャマイカ、フィリピン、カンボジア、インドネシア
- ・ 参加者の背景： 技術者、技能実習生、介護実習生、家族滞在、日本人の配偶者など
- ・ 日本語ボランティア： 日本語ボランティア養成講座(当法人主催)修了者 12 名

生活に必要な日本語を学びながら、日本の習慣など知る機会にもなっている。また日本語ボランティアは、外国人が地域でどのように生活をしているかを学ぶ機会になり、地域に暮らす外国人への目配りをできるような人材育成にもつながっている。

外国人学習者は、清掃業や製造業、介護にかかわっている人が参加している。特に北神地域は介護事業所が多いが人手不足のため技能実習や特定技能の査証(ビザ)を得て、勤務してる傾向がある。教室には、介護福祉士の資格取得を目指して勉強している外国人学習者も数名いる。



にぎやかに活動中♪



日々の積み重ねの成果が見られます

②地域日本語教室「外国人ママのための北神日本語教室」運営（コーディネーター： 本田文代）

【公益財団法人日本国際交流センター 休眠預金を活用した新型コロナウイルス対応緊急支援助成事業】～23 年 2 月

【社会福祉法人中央共同募金会 第 3 回外国にルーツがある人々への支援活動応援助成事業】23 年 3 月～

子育て中の母親・父親を主な対象に、生活で必要な日本語を学びながら、孤立しがちな在留外国人の母親が外国人同士、同胞同士、彼女たちの状況を理解する地域の日本人住民とのつながりをつくりだし子育ての悩みを共有しながら日本文化、習慣を知る場づくりとして実施。また、2022 年 10 月 6 日、小寺さやか准教授（神戸大学大学院保健学研究科パブリックヘルス領域）とゼミ生による、子育て相談会を実施した。

外国人母親の参加が平均 1.2 くらいであった。特に乳幼児を育てる母親にとって、朝の決まった時間に参加するのは子どもの機嫌に左右されることや、交通が便利とは言えない地域であるためバスに乗り遅れると参加が難しいとの声が上がった。また、物価高の影響を受け、家計を支えるために仕事を選んだ人もいた。

日 時 毎月第 1～3 月曜日 10:00～11:30（毎月 3 回実施）

場 所 北神区文化センター 和室（神戸電鉄岡場駅徒歩 8 分）

参加者

- ・ 外国人登録者： 5 名
- ・ 参加者出身国： ベトナム（2 名）、ジャマイカ（2 名）、カンボジア（1 名）
- ・ 協 力 者： 日本語ボランティア養成講座修了者 5 名



和気あいあいと日本語を学んでいます



教育実習の学生に協力いただき、子育て相談

③日本語ボランティアブラッシュアップ研修【ひょうごボランタリープラザ助成事業】

日本語ボランティアがより良い活動を行うためのスキルアップ講座を実施。昨年までの講座形式から、参加者の交流を交えながら、お互いの課題について議論し、知恵を出し合い、発表する形式に変更した。特に、日本語ボランティアの背景も様々で、世代間による意見発表やボランティアの教授方法などを学べる機会となった。

日 時 2022 年 11 月 30 日(水) 18:30～20:00
 場 所 北神区文化センター 会議室(神戸電鉄岡場駅徒歩 8 分)
 講 師 土井 佳彦さん (NPO 法人多文化共生リソースセンター東海 代表理事
 ／文化庁地域日本語教育アドバイザー)
 参加者 日本語ボランティア 計 20 名(県内の他日本語教室からの参加者も受入れ)



④ベトナム語の翻訳・通訳

- NPO 法人篠山国際理解センターから、小学校に通う子を持つ保護者向けの学校通信等のベトナム語翻訳の依頼を受け、スタッフのエンが対応した。
- 川西市保健センターから、ベトナム人の乳幼児健診への通訳依頼を受け、スタッフのエンが対応した。

6.2. アウトリーチによる相談支援体制整備事業

【公益財団法人日本国際交流センター 休眠預金を活用した新型コロナウイルス対応緊急支援助成事業】

NEW

兵庫県中南東部に住む在留外国人を対象に生活や暮らしにまつわる困りごとや教育、就労といったライフステージでの悩みごとの相談に寄り添うことを目的に実施。相談者が暮らす地域に向くアウトリーチ型を基本に取り組んだ。

①アウトリーチ型相談支援事業

相談者が希望する場所に相談支援員が出向き、ベトナム語や英語での生活相談支援を実施。就労や居住に関する相談、家族呼び寄せなど、長期的支援が必要なものが増えている。

相談件数 73 件

相談内容 日本語教室、子育て、就労、在留資格、住居、医療・保健、教育、消費生活など

子どもの呼び寄せに伴い、学校や幼稚園現場などお便りの翻訳や説明のための同行通訳などの外部依頼も増えてきている。今後、さらに増え続ける外国人住民へのサポートを充実できるように体制も整え、行政機関との連携も視野に活動をしていきたい。

②地域情報紙「つながり」発行

裏六甲エリアのイベントや子育てに関する情報、観光名所、日本文化の紹介など地域生活に役立つ情報紙を、日本語・ベトナム語・英語で毎月発行(日本語 200 部、ベトナム語 300 部。英語版は WEB サイトのみ掲載)。三田や北神地域、西宮市北部で外国人を雇用する 17 の事業所や近隣の国際交流団体など約 30 団体に送付した。

発行月	主なテーマ
2022 年 8 月	お盆の過ごし方
2022 年 9 月	お月見
2022 年 10 月	三田の観光と味覚まつり
2022 年 11 月	紅葉狩り情報
2022 年 12 月	自転車運転への注意
2023 年 1 月	十日えびす
2023 年 2 月	節分の紹介
2023 年 3 月	桜の花見情報
2023 年 4 月	マイナンバーカード取得について
2023 年 5 月	こどもの日の話
2023 年 6 月	職場でのハラスメントについて
2023 年 7 月	三田まつり情報

*PDF で WEB サイト「つながり」からダウンロードできる。



③多言語で読める三田・北神・西宮北部お役立ち WEB サイト「つながり」制作・運営 <https://tsunagari-fr.net/>



「つながり」
日本語サイト

裏六甲エリアはベトナム人住民が急増しており、暮らしに必要な情報を集約し、母語での情報保障ができるようワンストップ化を目指して作成。コンテンツは 10 のカテゴリーに分け、それぞれ 3 言語で展開している。

圏域にある地域日本語教室の情報や病院診療時での「多言語問診票」の紹介、緊急・防災への心構えを啓発するために自治体の出す情報をリンクでつないだ。また、地域情報紙「つながり」のバックナンバーを保存し、PDF で閲覧できるようにしている。

三田市商工会のニュースレターに同封することで、圏域の 1200 事業所に案内チラシを発信。広く活用の周知を行なった。

④相談窓口を併設した食料配布(フードパントリー)事業

コロナ禍の経済面への影響に加え、物価高や円安の影響を受け日常生活に支障が出ている在留外国人に対し、食料配布を行うことで孤立しがちな地域の在留外国人が地域の支援者と出会う場を作り出すとともに、彼らが抱えている課題を把握することを目的に4回実施。アンケート調査を実施し、悩みごとや課題の把握も行った。

場とつながりの研究センター

ちいさ す がいにくじん あな
地域に住んでいる外国人の皆さん
しょうりょうひん にちようひん くば
食料品や日用品を配ります

ひはら く ちいさ す あな
日本に暮らす外国人の皆さん、こんな悩みがありますか？

- ・日本語を勉強したいけれど、近く(に)教室がない
- ・生活に困っている(収入がへった、子どもが保育園にいけない等)

ひばら あな はな しょうりょう ひん かえ
日頃の悩みを話して、食料を持ち帰ってください。 40名申込制
初めての方優先

日時 2023年7月30日(日) 10:30~12:30
場所 マルナカ三田店2階
(三田市 消防署 前)

配るもの 米、食料品、日用品など
持ちもの 持ち帰り用の袋(大きいエコバッグ)
費用 無料
予約開始 7月20日~

【問い合わせ先】
NPO法人 場とつながりの研究センター
代表者 山本 浩二、山本 浩二、山本 浩二
TEL: 080-0301-0287 (山本 浩二、山本 浩二)
メール: kokusai@bctokunagaz.net

希望参加者を申込フォーム
から登録してください

① 10:30~(10名)
② 11:00~(10名)
③ 11:30~(10名)
④ 12:00~(10名)

※7月20日より前の受付は出来ません

【協力】三田市社会福祉協議会
三田市国際交流協会
マルナカ三田店

QRコード、Facebook Messenger、MAP

※新型コロナウイルス感染症に注意
外国にルーツがある人々への支援活動応援助成

実施日	実施場所	参加者数・国籍	協力団体
2022年 11月23日(水祝) 10:30-13:00	神戸アドベンチ スト病院 (神戸市北区有 野台)	21名 (後日配布 33名) ベトナム、ジャマイカ、 インドネシア、中国	【スタッフ】神戸市北区社会福祉協 議会、神戸市有野台地区民生委員児 童委員協議会 【食材提供】NPO 法人フードバンク関 西、神戸市北区社会福祉協議会
2023年 1月29日(日) 11:00-13:00	スーパー マルナカ 三田店 (三田市川除)	40名 ベトナム、インドネシア 中国、台湾、 フィリピン、ウガンダ	【相談支援】三田市社会福祉協議会 【スタッフ】三田市国際交流協会 【食材提供】NPO 法人フードバンク関 西
2023年 5月21日(日) 11:00-13:00	スーパー マルナカ 三田店 (三田市川除)	40名 ベトナム、インドネシア フィリピン、ミャンマー マレーシア	【相談支援】三田市社会福祉協議会 【スタッフ】三田市国際交流協会
2023年 7月30日(日) 11:00-13:00	スーパー マルナカ 三田店 (三田市川除)	38名 ベトナム、インドネシア マレーシア、中国、 ジャマイカ	【相談支援】三田市社会福祉協議会 【スタッフ】三田市国際交流協会

⑤地域日本語教室「外国人ママのための北神日本語教室」

詳細は p.9 を参照。

なお、②・④・⑤について、2023年3月~7月は、中央共同募金会「赤い羽根共同募金『第3回 外国にルーツがある人々への支援活動応援助成』」を受け、実施した。

6.3. 学生のまちづくり参加促進事業

(1) 学生への相談支援・コーディネーション

高校生・大学生の地域活動・ボランティア活動参加をコーディネーションした。社会貢献したい学生や、縁あって三田で暮らしているが地域と接点を持つことができていない学生と、地域とつながる場づくりを検討していきたい。

※本年度、関西学院大学総合政策学部「都市政策演習 2」は不開講。



(2) NPO インターンシップ受け入れ

NEW

長期休暇を利用して行われる「NPO インターンシップ」(主催: NPO 法人ドットジェイピー)への受け入れを実施。2022 年 8 月～9 月、関西学院大学総合政策学部 1 回生 1 人が参加した。

6.4. 企業の社会貢献活動(CSR)への協力・支援事業

企業から社会貢献の申し出や相談をいただき、アドバイスを行うとともに活動団体につないだ。

相談内容(一例)	支援実績
パック米や管理期限後製品(パン)、社内災害備蓄用飲料水の提供	「さんだまんぷくプロジェクト」や「裏六甲子ども若者居場所ネットワーク」5 団体にマッチング
社員ボランティアの参加	フードパントリー・子ども縁日・食料配布会活動への参加

6.5. 地域行事への参加や協力、コーディネーション

名称	実施日	出店内容	主催団体
三田まつり あきんどまつり	コロナ禍で中止		
じばやんマルシェ	2022 年 10 月 29 日(日) 2023 年 3 月 26 日(日) *じばやん 10 周年まつり	やきいも	三田小学校区県民交流広場 「三田じばやん倶楽部」
まほろばマルシェ (学園マルシェ)	2022 年 9 月 25 日(日) 11 月 27 日(日) 2023 年 5 月 28 日(日)	子ども縁日 (SSV 関西学院と協働)	まほろばマルシェ(学園マルシェ)実行委員会

6.6. 居住支援事業 【ひょうご住まいづくり協議会「ひょうご居住支援団体発掘・育成支援事業」】

シングルペアレント家庭や在住外国人など「住まい」に困りごとを持つ人からの相談が出てきたことを受け、支援体制を整えるため、ひょうご住まいづくり協議会(事務局・兵庫県住宅政策課)「令和 4 年度ひょうご居住支援団体発掘・育成支援事業」に応募し、採択。食料配布会などでのアウトリーチ相談を行うとともに、必要に応じて不動産屋への同行支援なども行った。

6.7. 生活に困りごとを抱える方への食支援と相談支援事業

【神戸市くらし支援課生活困窮者に対して食料品・生活支援情報を提供する NPO 法人等に対する補助事業】

NEW

コロナ禍や原油価格・物価高騰などの影響を受け、生活にお困りの方に対して、食料や生活用品の配布と併せて、事前申込時に記入いただいた世帯の状況等に基づいて、参加者全員に個別ヒアリングを行いながら生活相談に乗り、地域や行政などの支援につなげる取り組みを実施している。令和 4 年度は、子育て世帯を対象に実施したが、令和 5 年度は世代を問わず困りごとを抱えている方を対象として取り組んでいる。

①相談窓口を併設した食料配布会の開催

対象者 神戸市内に住む子育て世帯(18 歳以下の子どもがいる世帯)
 配付物 お米、サラダ油、カレールー、インスタントみそ汁、パック米、飲料、洗剤等
 協力団体 [食料提供] 神戸市北区社会福協議会、NPO 法人フードバンク関西
 (株)アイリスオーヤマ
 [生活用品提供] 神戸市北区社会福協議会、NPO 法人りぐこうべ兵庫
 [当日スタッフ] 第一生命三田支店のみなさま
 [専門家相談] 飯島仁美さん(関西女子短期大学講師・子育て相談全般)
 神戸朝美さん(不登校・教育相談)
 池辺寿江さん(不登校・子どもの心理の相談)
 高瀬晶子さん(助産師・育児相談)

回	実施日・場所	テーマと内容	参加者数
1	2023 年 1 月 21 日(土) 9:45~11:45 北神区文化センター 多目的ホール	『子育て中のお母さんへの食料・生活用品配布会』 子育て世帯に向けた食料配布会と専門職への相談会を実施。助産師による授乳や婦人科相談や元教員による子どもの不登校についての専門相談を実施。	39 世帯
2	2023 年 2 月 25 日(土) 10:00~11:30 有野台会館 ホール	『子育て中のお母さんへの食料・生活用品配布会 in 有野台』 アウトリーチ型支援として、地域の小規模会場へ出向いた配布会を実施。	21 世帯
3	2023 年 3 月 9 日(木) 10:30~11:30 北神図書館 セミナールーム	『絵本でつながる子育て』 神戸市北神図書館共催企画として実施。「みて・きいて・うたって・ふれて」をテーマに、お話を通して親子のふれあいを学び、親子コミュニケーションの育み方を伝えた。	9 世帯
4	2023 年 3 月 25 日(土) 14:00~16:30 北神区文化センター 多目的ホール	『子育て中のお母さんへの食料・生活用品配布会』 子育て世帯に向けた食料配布会と専門職への相談会を実施。助産師による授乳や婦人科相談、保育士養成科の大学講師による子育て相談や元教員等による子どもの不登校についての専門相談を実施。	43 世帯



②人材育成研修会

地域の支援者の新たな人材発掘・育成として、専門の講師を招いて支援のあり方についての研修会を実施。受講した参加者で活動に賛同いただいた方には、「いけママボランティア」として、食料配布会へのボランティア活動(聞き取り、食材配布など)に参加していただいた。

回	実施日・場所	テーマと内容	参加者数
1	2023年1月14日(土) 10:00~11:30 北神区文化センター 和室	『子育て支援とは』 講師: 飯島 仁美さん/関西女子短期大学 講師 元・宝塚市立児童館館長	17人
2	2023年3月11日(土) 10:00~12:00 北神区文化センター 和室	第1回研修の復習、1月21日実施の配布会の振り返り、 3月25日配布会に向けての打ち合わせ	12人
3	2023年7月1日(土) 9:00~12:00 北神区文化センター 和室	『対人援助について 1』 講師: 飯島 仁美さん/関西女子短期大学 講師 元・宝塚市立児童館館長	9人



6.8. 神戸市北区北神地域の子育て世帯への食を通じたつながり支援事業

【神戸市こども家庭課「子育て世帯への食を通じたつながり支援事業」補助】

NEW

コロナ禍や物価高騰などの影響で生活が厳しい状況の子育て世帯や、子育てにおいて身近に相談できず孤立している・孤立を感じている子育て世帯を対象に、食料等の提供をきっかけとして、地域や行政等の支援機関につなげる取り組みを毎週 1 回、アウトリーチ型支援として北神地域の公共施設等で活動を実施した。

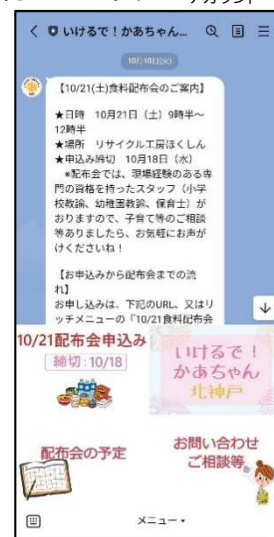
実施日 2023 年 4 月 15 日(土)～ 毎週 1 回実施(今期 16 回実施)
 配布時間 平日開催の場合 15 時～18 時、土曜日開催の場合 9 時～12 時
 配布会場 北神戸田園スポーツ公園、北神区役所5階 地域活動交流コーナー
 リサイクル工房ほくしん等



公式 LINE
アカウント

利用希望者は『いけるで！かあちゃん』公式 LINE アカウントに登録する。配布日の前週の火曜日に翌週の配布会の案内をメッセージで配信し、事前申込制として実施。また、事前に配布会の予定の予告として、『いけるで！かあちゃん北神戸』のホームページに配布会の予定を掲載したり、公式 LINE のリッチメニュー(右図の下部)からでも、予定を確認できる仕組みにしている。また、公式 LINE のリッチメニューには、チャット機能を活用した個別の問い合わせ等の対応も行っている。

配布会時には、初回の利用者には個別ヒアリングを行い、その世帯の抱えている状況や課題等のヒアリングを実施している。2回目以降の利用者は、定期的に世帯や保護者の状況等の確認をするために、簡易的なアンケートを実施している。配付スタッフには、法人スタッフ以外に「いけママボランティアメンバー」も活動スタッフとして活躍中である。



成果	詳細
配布世帯数	77 世帯(延べ 415 世帯) - ひとり親 20 世帯 そのうち3人以上の子どものいる世帯が4世帯 - 4人以上の子どもがいる世帯 7 世帯(3人以上の多子世帯の場合は 22 世帯)
相談件数	95 件。うち、行政・地域の支援先へのつなげた件数は 35 件 - 日常生活での経済的不安以外にも、子ども教育資金の不安と情報提供の依頼 - 不登校に関する相談や発達障がい、思春期の子どもとのコミュニケーションに関すること - 乳幼児の発達と関わり方について - 親自身の健康不安に対する不安 - 仕事と子育てについてのバランス 等

7. まちづくりに資する子ども・若者支援事業（収益'21：631千円、'22：4,720千円）

7.1. 三田まちの寺子屋「まなびあ」の運営

地域の子どもの地域で支える仕組みづくりを目指し、主に生活困窮家庭・ひとり親家庭の子どもや不登校児者の学校外教育の提供を目的に、地域住民と協働で 2013 年 8 月に立ち上げた。子どもにとっての「サードプレイス」となるよう、子どもの声を聴き、寄り添いながら自分のやりたいことに取り組む居場所にテーマを広げ、運営している。

日 時： 毎週水曜日・金曜日 15:30～18:30(利用料:無料)

場 所： 三田じばやん倶楽部

子ども参加者： 小学生～高校卒業生まで、おおよそ 10 人～15 人／回



子どもたちの支援を行う「まなびサポーター」には、中嶋和哉さんやボランティアサークル「SSV 関西学院」のメンバーが参加している。定例会を開催(不定期)し、情報共有や対応を議論している。日頃の様子は Facebook でも発信している。

受験を控えた中学 3 年生が数名いたことから、「中 3 学習会」を臨時で開催した。



まなびあ
Facebook

友達が友達を連れて参加するなど新規利用も増えているが、初期利用世代が高校生・専門学校生になるなど、子どもたちの入れ替わりも多くなってきた。特に、小学生低学年の利用が増えている一方で、学習支援がより必要と思われる中学生の参加が増えておらず、学校との連携を今後深めていきたい。

(これまで助成金をいただいた団体)

独立行政法人福祉医療機構(WAM)	(2013 年度)
公益財団法人ベネッセこども基金	(2014 年度～2016 年度)
公益財団法人キリン福祉財団	(2019 年度)
gooddo 社によるクリック募金	(2018 年 1 月終了、現在は楽天アフィリエイトによる支援)
三田市人権を考える会 結サポート事業	(2021～2022 年度)
社会福祉法人三田市社会福祉協議会 善意銀行からの助成	(2022 年度)

その他、地域からの資金(寄付金、協賛金等)を集めて運営している。

7.2. 地域型学習支援「北神まなびあ」の運営

【神戸市子ども未来課「学びへつなぐ地域型学習支援事業」補助】

NEW

経済的な事情等により学習機会を十分に得られていない神戸市北区在住の中学生を対象とした無料学習支援を、2023年7月2日から取り組み始めた。三田まちの寺子屋「まなびあ」とは異なり、面談を経て登録した中学生を約1年間継続して支援する取り組みで、ボランティア1人が中学生2人を教える少人数支援を行っている。また、単調な学習とならないよう、また、生活に根づいた学びの力が得られるよう小クイズを毎回提示しており、ボランティアと中学生が共に悩みながら考える場を作っている。



北神まなびあ
Facebook

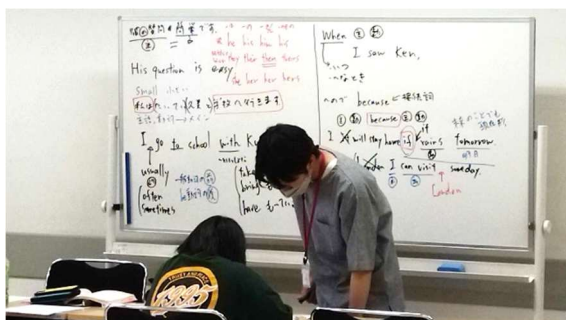
日 時： 毎週日曜日 13:30～16:00(前後30分ずつボランティア打ち合わせ)

場 所： 北神区文化センター 会議室 または、デイサービス「サニリーハトレセンター」

中学生登録者： 18人(3年生9人、2年生2人、1年生7人)

ボランティア登録： 18人(大学生14人、社会人4人)

*SSV 関西学院やボランティアサークル BELL の学生さんに声をかけるとともに、ボランティア募集サイト「activo」にページを作り、希望者を募った。



7.3. 子ども食堂「まかないキッチン」

三田じばやん倶楽部と協働して、2017年より取り組んでいる。もともとは、大東真弓さん(理事)があそびの広場の活動で子どもたちと一緒に料理を作って食べていたところ、日頃話さないようなことが子どもたちの会話の中からたくさん出てきたことを承けて、「子どもたちが安心して思いを吐き出せる場を作ろう」という思いの元で運営している。また、NPO 法人フードバンク関西より食材提供をいただき、当日のメニューや子どもたちへのプレゼントとして活用している。

日 時 毎月最終金曜日 18:00-20:00 *緊急事態宣言期間は開催せず

場 所 三田じばやん倶楽部

参加費 大人 200 円、子ども 100 円(カレー、サラダ、その他寄付いただいたもの)

参加者 子ども約 40 人、保護者約 5 人、高齢者が約 10 人定期的に参加している。

スタッフ 約 15 人。調理担当のスタッフ、子どもの相手中心のスタッフなど、それぞれの得意とする内容で活動に携わっており、「田舎の法事」のような場の雰囲気になっている。



7.4. 子どもの食の自立支援プロジェクト

(1) チャレンジキッチン

緊急事態宣言を受けて「まかないキッチン」が実施できなかったこと、また、参加する子どもたちが「食べるだけ」で終わらず自ら作ってふるまう立場に立つ経験が必要と考え、集まった食材を中心に子どもたちが自ら献立を考えて助け合いながら作る料理教室「チャレンジキッチン」を開催した。フードバンク関西からの食料寄贈品を参考にしながらメニューを子どもたちと考え、食材を大人が準備し、子どもたちと大学生ボランティアが協力して調理を行うようにしている。

日 時 毎月第 2 土曜日 15:30-20:00

場 所 三田じばやん倶楽部

参加者 主に小学生高学年から高校生約 10 人

スタッフ 大東真弓さんを中心に、SSV 関西学院のメンバーなど約 6 人。

(2) Taro's Kitchen

困窮世帯の子自身が自らの食事を作れるようになるために、1 対 1 で支援を行う「Taro's Kitchen」も、2020 年度より継続して実施。相談支援員の狩野和代さんにご協力いただき、事務所で料理教室を行ってきた(月 1 回程度)。献立決めから食材購入、調理、配膳、片付けまでを一緒に取り組んでいただき、その過程で「つぶやき」を多く拾うことでニーズを拾い上げ、自立支援につなげるプログラムに取り組んできた。

Taro 本人が高校生になったこともあり、いったん事業は終了。今後、類似の事案が発生したときに迅速に対応できるように準備を整えておきたい。

(3)ファストキッチン ～吉野家連携企画

(一財)日本民間公益活動連携機構(JANPIA)からの紹介で、株式会社吉野家の社会貢献事業である「牛丼無償配布」に参加。毎月 1 回最大 130 食分の牛丼並盛弁当をいただき、困窮世帯やシングルペアレント世帯など「孤食」状態にある子どもたちを対象に、ボランティアなどと一緒に囲む「あたたかい食卓の場づくり」を提供する事業を 2022 年 1 月より実施。「まなびあ」に加えて、西宮市上山口東自治会「子ども食堂“みんなあつまれ”」とフラワータウン地区住民有志による集いの場、三田市保護司会も参加し、子どもたちにあたたかい場づくりに貢献している。



7.5. 「まなびサタデースクール」開催

(1)はじめてのプログラミング

子どもたちのプログラミング的思考力の向上を目的として定期的に開催。子どもの成長を願うメンターからのさまざまなアドバイスもあり、興味深い作品を子どもたちは作っている。

※参加者の作品アトリエ:<https://scratch.mit.edu/studios/1741552/>

初心者向けの体験企画も開催(12 月 4 日)。

また、事務所を開放しての「自習室」スタイルでも開催した。

実施日	参加人数
2022 年 8 月 20 日	3 人
2022 年 10 月 15 日	3 人
2022 年 11 月 13 日 (自習室)	1 人
2022 年 12 月 4 日	4 人

7.6. フードシェアリング事業

(1)さんだコミュニティパントリー(仮称)創設・運営事業

①フードバンクとの連携事業

NPO 法人フードバンク関西とフードロスとなりそうな食材を提供いただく協定を結んだ。毎月第 2 水曜日にボランティアの中嶋和哉さんが引き取りに行き、まかないキッチン・チャレンジキッチンで活用している。同じくフードバンク関西と協定を結んでいる西宮市上山口東自治会から配送代行の依頼を受け、同時に引き取りに行っている。

②管理期限後食材や梱包破損食材等の回収活動

スーパーや工場で産業廃棄物として廃棄される食材等を回収する取り組みを実施した。倉庫の準備が整い次第、より大規模に働きかけていきたい。

対象	頻度	備考
マルナカ三田店 マックスバリュ三田三輪店	月 1 回(毎月第 2 水曜日午後)	協力: 三田市すくすく子育て課
アイリスオーヤマ三田工場	おおよそ月 1 回	協力: 三田市若者のまちづくり課
市内農家のみなさま	さんだまんぱくプロジェクト時	協力: 三田市若者のまちづくり課
食生活を考える会	必要に応じて連絡	*2023 年秋より

③寄贈いただいた食材を保管する倉庫の設営・準備

NEW

三田じばやん倶楽部・藤村晴彦さんの紹介で、(株)三田食糧精米工場の空き倉庫をお借りし、①②で回収した食材を保管する倉庫として準備を始めた。「あこう子ども食堂」の事例を参考に、誰でも取りに来ることができ、誰もが置いていくことのできる食材倉庫(コミュニティパントリー)として、運用していくことを目指している(あこう子ども食堂の事例を参考に取り組んでいる)。



(2)フードドライブ促進事業

マルナカ 2 階の空き店舗を活用し、食料を必要な人に届けるために家に余っている食材を寄贈いただくための場である「フードドライブ」を、三田市若者のまちづくり課と連携して実施した。また、ボランティアや学生サークル等と協働で「こども縁日」を同時開催し、楽しいイベントの雰囲気をつくると同時に、来場した方にフードドライブの必要性について普及啓発に取り組んだ。

実施日 2022 年 11 月 6 日(日)10:30~12:00

子ども縁日協力 SSV 関西学院、黒ひげ☆さん、発達凸凹の子を持つママの会「のびジュリ」

回収量 130kg



(3)一人暮らし学生への食料配布事業「さんだまんぷくプロジェクト」

コロナ禍で十分なアルバイトができず生活費に困難を抱える市内在住の一人暮らし学生(関西学院大学、湊川短期大学、神戸医療福祉専門学校三田校)を対象とした無料の食材配布企画を、三田市若者のまちづくり課と協働で実施。市民・学生ボランティアを募り、食料配布に加えて1対1の個別インタビューを行うことで、学生の困りごとの状況を把握し、課題の整理に取り組んだ。なお、コロナ禍も収束を受け、2023年度は実施しないこととなったが、コミュニティパントリー活動を通して、必要なタイミングで必要な人に提供できるよう、準備を進めたい。

第5回 さんだまんぷくプロジェクト	
日時・場所	①市役所配布 2022年11月11日(金) 17:30-20:00 2022年11月12日(土)10:00-14:00 ②広野市民センター 2022年11月12日(土)18:00-20:00 2022年11月17日(木)18:00-20:00 ③湊川短期大学 2022年11月17日(木)14:00-17:00
参加者	計400名
食材提供	NPO 法人フードバンク関西、11/6 フードドライブ アイリスオーヤマ 他



また、活動の様子をまとめた動画をボランティアの仲西美樹さんが作成。当法人の管理する youtube アカウントにて掲載し、各種資料等で紹介している。

<https://www.youtube.com/watch?v=Y9xI8Y1qy70>



7.7. 長尾児童館「子どもヘルパー支援事業」

神戸市北区にある長尾児童館のプロジェクト「子どもヘルパー」を支援。子どもヘルパーは、農村地域にある児童館の特性を活かし、ニュータウンにある大規模小学校児童の社会貢献プロジェクトで、①地域の伝統文化の伝承(地域行事体験など)、②多世代交流(未就学児向け、高齢者向けの企画)に加えて、③子どもたちが「こんなことをやりたい!」を実現するプロジェクトとして取り組んでいる。子どもたちの話し合い活動のファシリテーター役や子どもたちの取り組みのサポート役として側面的に支援する活動に、学生とともに取り組んでいる。

7.8. 不登校児・ひきこもり者および家族の支援事業

(1)不登校・ひきこもり者支援者ネットワーク会議

裏六甲エリアにて不登校児やひきこもり者の支援を行っている市民活動団体同士の横の連携や、専門家とのつなぎ、情報交換などを目指したネットワークづくりに取り組んだ。想定以上に参加者があり、関心の高さを感じたことから、継続的に実施していきたい。

日 時 第2回 2022年11月3日(木祝)10:00-12:00

場 所 さんだ市民センター 会議室

参加者 24名(市民活動団体、公的団体の相談員、保護者会や当事者会のメンバー)

(2)不登校・ひきこもりの方のためのオンライン居場所「ほっこり縁側ひろば」事業

兵庫県障害福祉課「ひきこもり状態にある者を対象とした電子媒体を活用した居場所の開設業務」として事業を実施。オンライン会議システムZoomを活用し、趣味やアニメなどサブカルチャーをテーマとしたオンライン居場所を開設。ひきこもりの当事者・経験者向けの情報プラットフォーム「ひきプラ」、SNS「X(旧 Twitter)」などで情報発信を行っている。



ほっこり縁側
ひろばサイト

日 時 毎月第4月曜日 16:00-17:00 (23年4月以降、17:00-18:00)

ファシリテーター 池辺寿江さん(西宮市ココロの居場所「ふわっと」代表)

黒ひげ☆さん(はじまりの街 世話人) (～第12回)

中田淳子さん(第13回～)

回	実施日	テーマ	参加者数
第4回	2022年8月22日	音楽について	8人
第5回	2022年9月12日	女子会	4人
第6回	2022年9月26日	アニメについて	7人
第7回	2022年10月24日	マイブームについて	4人
第8回	2022年11月28日	秋の食・料理について	8人
第9回	2022年12月26日	アナログゲームについて語ろう&遊ぼう	4人
第10回	2023年1月23日	生活・お金について	14人
第11回	2023年2月27日	コミックについて	4人
第12回	2023年3月27日	あなたのほっこりについて	4人
第13回	2023年5月22日	写真について	5人
第14回	2023年6月26日	行ってみたい場所・好きな場所	6人
第15回	2023年7月27日	好きな音楽について話そう	8人

7.9. 困窮する若者への SNS を活用した相談支援事業

【神戸市くらし支援課「生活に困窮する若者への SNS 等を活用した相談支援事業」】

NEW

公式 LINE『きっとチャット KOBE』を開設し、チャット機能を活用しての個別相談や、経済的困窮に陥っている若者への食料送付の支援を実施している。チャットで個別に困りごとを丁寧に聞き取りながら、若者の真の困りごとを聞きとり、必要に応じて公的機関等へつなげたり、民間団体が実施する居場所等につなげている。加えて、Zoom を活用した「オンライン座談会」も行い、参加者同士が気軽にテーマに沿った思いを吐き出せる場づくりを行っている。



きっとチャット
KOBE サイト

広報は、若者層へリーチするため有料の SNS 広告(LINE、Instagram、X)を活用している。

◆公式 LINE アカウント『きっとチャット KOBE』

登録者数	319 名【内訳】 男性 31.3% 女性 68.7%
食料支援実施人数	58 名
行政や地域の支援先等 へつないだ人数	7 名【つなぎ先】 神戸市各区くらし支援窓口、各区の食料支援団体、神戸市精神福祉保健センター、地域の若者の居場所等

◆座談会について

実施日	テーマ	参加者数
2023 年 1 月 17 日	若者生きづらさミーティング(10 代の部)	0 人
2023 年 1 月 17 日	若者生きづらさミーティング(20 代の部)	5 人
2023 年 1 月 22 日	U29 悩みごとサミット「アルバイトや仕事の悩み」	0 人
2023 年 1 月 22 日	U29 悩みごとサミット「助けを求めることの難しさ」	0 人
2023 年 2 月 7 日	「natural K」のみんなとおはなし会	5 人
2023 年 2 月 12 日	HSP(織細さん) おちつくオンライン交流会	4 人
2023 年 2 月 12 日	ふつうに生きるって難しい会議	8 人
2023 年 2 月 26 日	人間関係についてみんなで悩む会	6 人
2023 年 3 月 10 日	「節約」「お金の悩み」	1 人
2023 年 6 月 24 日	人間関係と距離感	1 人

8. 市民活動及びまちづくりに関する調査研究事業（収益'21：500 千円、'22:0 千円）

今期大きな取り組みは実施なし。市民調査に対する相談・問い合わせは引き続き承ると同時に、プロジェクトごとに政策提言につなげるようなデータ収集及び分析を、今後積極的に取り組んでいきたい。

■ 管理および法人運営部門

1. 会員の状況 (収益 '21 : 123 千円、'22 : 121 千円)

正会員は、期初時点から 1 名増で 21 名となっている。

賛助会員は、期初時点から 4 名減で 17 名となっている。

2. 寄附の状況 (収益 '21 : 296 千円、'22 : 1,436 千円)

当法人の活動に賛同してくださった市民からの寄付を今年も多くいただくことができた。また、今後の活動に充ててほしいと活動謝金をそのまま寄付してくださった方もいらっしゃる、このようなお気持ちに応えた取り組みを進めていきたい。

また、「Amazon ほしいもののリスト」を活用し、困窮世帯(学生や若者、ひとり親家庭・多子世帯家庭など)にお届けできる食材を募集したところ、7 人の方からパック米やお菓子などの寄附をいただいた。寄附者名は把握できるものの、住所等の連絡先がわからないシステムのため、法人 SNS を通してお礼のメッセージを発信している。



3. 会議に関する事項

総会および理事会を下記の通り実施。理事会ではメーリングリストで情報共有・意見交換を適宜行っている。

【通常総会】2022 年 10 月 9 日 / 三田ほんまち交流館「縁」

【理 事 会】2022 年 9 月 24 日(持ち回り) 10 月 26 日

2023 年 1 月 20 日、7 月 25 日 / いずれも ZOOM で

4. 職員体制

休眠預金事業をはじめ助成・補助金による予算を活用し、職員体制を整えて取り組んでいる。

事務局長・統括	大島 一晃 (法人理事)	
国際事業部	本田 文代 (週 3 日)	ドウ・シ・ハ・エン (週 3 日)
	平田 利枝 (週 2 日)	
子ども・若者支援部	島津 恵美 (週 5 日)	山本 幸枝 (週 1 日) *'23 年 3 月まで
	足達 龍彦 (週 2 日)	*'23 年 1 月から(主に在宅)
	和田あさみ (週 3 日)	*'23 年 7 月から
管理部門・事務局	平田 利枝 (週 1 日)	

また、当法人はプロジェクトごとに多くのボランティアの参加・協力によって運営されている。
特に活動の基盤を支えてくださっているボランティアを、感謝の気持ちを込めて紹介する。

情報発信部門(ホームページ管理)
子ども・若者支援 (まなびあ)
管理部門

井上 義則 (法人正会員)
中嶋 和哉、SSV 関西学院
中西尚美 (法人正会員)

5. 他団体との連携・協力

以下の組織・ネットワークに所属し、適宜情報交換や事業連携を行っている。

- 車瀬橋商店街
- 三田本町通商店街(準会員)
- 三田市商工会
- ひょうご子育てコミュニティ
- ひょうご市民活動協議会
- 三田地区県民交流広場
「じばやん倶楽部」運営委員
- 三田小学校コミュニティスクール運営協議会 運営委員【大島】
- ひょうごみんなで支え合い基金 運営委員【大島】
- コープともしびボランティア振興財団 運営委員【大島】
- 三田市地域福祉審議会／三田市子ども審議会 委員【大島】
- 神戸市認定 NPO 取得支援アドバイザー【大島】
- (公財)非営利組織評価センター グッドガバナンス評価委員【大島】
- 兵庫県 14 期県民生活審議会 委員【本田】

■ これまでの業績推移

	収益	経常収支差額	主な事業等
2006 年度	6,192,761	△960,814	市民活動推進プラザ運営
2007 年度	9,339,984	137,083	地域 SNS「さんでい」立ち上げ
2008 年度	17,329,561	△347,523	総務省「地方の元気再生事業」
2009 年度	17,053,023	66,850	
2010 年度	49,197,634	△2,257,061	総務省「地域 ICT 利活用広域連携事業」。 他、3 つの緊急雇用事業
2011 年度	20,208,730	△961,253	市民活動推進プラザ、受託終了。ほんまち移転
2012 年度	5,412,920	△1,222,338	ひょうごコミュニティ財団設立支援
2013 年度	4,823,671	407,254	居場所研究会、まなびあ設立
2014 年度	3,470,315	630,174	中堅スタッフ育成、まなびサタデースクール
2015 年度	4,228,054	717,566	気づきの事例検討会
2016 年度	4,180,558	116,841	対話の場づくり・フューチャーセッション、がんばりタイム
2017 年度	4,134,888	313,566	学習支援ハンドブック、遺贈資源仲介、都市政策演習
2018 年度	5,087,612	1,246,810	対話の場づくりハンドブック・ユースワーク研究会
2019 年度	6,480,788	1,720,460	日本語ボランティア養成講座、北神日本語教室 長尾児童館支援、緊急事態宣言下の支援活動
2020 年度	7,486,879	579,798	子どもの声を聴くためのハンドブック、NPO 事務力 アップ支援事業、休眠預金を活用した事業
2021 年度	21,880,263	124,028	裏六甲子ども・若者支援者ネットワークづくり事業 一人暮らし学生への食料配布支援事業 在留外国人へのアウトリーチ型相談整備事業
2022 年度	24,600,636	18,212	相談支援併設型の食料配布事業 いけるでかーちゃん!北神戸プロジェクト 若者 SNS 支援「きっとチャット KOBE」、北神まなびあ

以上